

みずほコーポレート銀行が、二要素認証の更なる強化とTCO削減を同時に実現

日本の3大メガバンクの一角であるみずほコーポレート銀行は、海外法人お客様向けサービス「みずほグローバルCMS」の認証強化・利便性の向上・TCO削減を目的にVASCOのワンタイムパスワードソリューションを採用した(2010年1月)

みずほコーポレート銀行のグローバルトランザクションビジネス

みずほコーポレート銀行は、大企業(一部の上場企業等)およびそのグループ会社や金融法人、公共法人ならびに海外の日系・非日系企業を主要なお取引先としています。国内では、Mizuho Advanced CMS を軸にプーリング・支払代行等の各種資金管理サービスを提供し、お取引先の資金効率化ニーズにお応えしています。海外に拠点を展開するお取引先には、「みずほグローバルCMS」やクロスボーダーのプーリングなど、グローバルベースで高度な資金管理サービスを提供しています。

二要素認証の更なる強化とTCO削減

「みずほグローバルCMS」は、海外法人向けインターネットバンキングシステムとして2001年からスタートしていますが、同行では当初からお客様のセキュリティを意識して電子証明書(PKI)を認証におけるセキュリティ対策として実装していました。一方、二要素認証強化を目的に、2008年8月に金融当局より指導・ガイドラインが発表されました。要求事項を最も満たす製品として、同行ではVASCOのワンタイムパスワードの導入を決定しました。eビジネス営業部GCMS推進室 前田氏は次のように説明します。「電子証明書(PKI)も二要素認証と言えますが、ガイドラインの条件を満たすには、VASCOのようなワンタイムパスワード方式が最も適していました。特に、費用面においても、これまでの電子証明書の更新費用などに比べて、コスト削減ができることも魅力的でした。USBトークンに電子証明書という選択肢も考えましたが、管理コスト・利便性という点からもVASCOのようなワンタイムパスワードソリューションがベターな選択肢でした。」導入後、実際に法人ユーザー様からもバンキングシステムの認証方法が使い易くなったと喜ばれているとのことでした。

VASCO製品・サービスの特徴



VASCOのワンタイムパスワードは、海外法人向けインターネットバンキング「みずほグローバルCMS」のログイン時と送金承認時の認証に使用されています。金融当局からのガイドラインでは、一定額以上の高額取引などリスクの高いトランザクションにおいて、認証強化が要求されていました。VASCOワンタイムパスワードの高セキュリティ機能は、中間者攻撃を未然に防ぐトランザクション署名という機能やサーバー認証を同時に行うフィッシング対策機能なども標準装備されています。このように、将来的な脅威の高まりや金融当局からの更なる要請にも対応可能な銀行向け製品ポートフォリオを豊富に揃えているという点が、導入を決定付ける大きな要因でした。

eビジネス営業部GCMS推進室 前田氏は次のように説明します。「既にグループ会社であるみずほ銀行、みずほ信託銀行での実績や銀行を中心とした多数の金融機関での実績、コストや導入期間が合理的だった事、更に、注文前の提案フェーズから無償検証対応や他行事例の情報提供などスムーズな導入を可能にするサービス内容などが導入の決め手でした。」



導入されたワンタイムパスワードトークンは、ワンボタン式時間同期のGO6及びVACMAN Controller という大規模向けの強力なサーバー製品です。VASCOのトークンは、約7年間のバッテリー寿命、ブランドやコーポレートカラーなど表面的なものだけでなく、時刻幅やパスワード長など内部設定値をお客様ごとに変更できる柔軟な機能を備えています。特に、持ち運びや保管が容易で、操作も平易なため、エンドユーザのユーザビリティを限りなく追及している点が、ハードウェアトークンGO6を選択した理由でした。

大規模向けサーバー製品VACMAN CONTROLLER

VASCOサーバー製品群の一つであるVACMAN Controller は、導入に際して新規サーバーを増設する必要がなく、既存サーバー内に実装できたため、既存システムにおける負担が軽微とい

う点が評価されました。また、既存アプリケーションからの認証呼び出しなどの連携動作も違和感がなく、エンドユーザの画面操作もスムーズで安定的という点も導入に際しての評価ポイントでした。



みずほ情報総研 銀行システムグループみずほコーポレート銀行勘定系事業部 チーフSE 渡部氏は次のように説明します。「今回のインプリでは、事前にVASCO社のセミナーを受講し、ワンタイムパスワードに関する標準的な仕組みや、VACMAN Controller というサーバー製品APIの使用方法を理解することができたため、問題なく開発が行えました。また、多数のお客様が利用する状態(高負荷)を想定した挙動検証についても、DIGIPASS SIMULATORなどのVASCO社提供のツール群を利用することにより、検証作業をスムーズに行うことができ、銀行システムで求められる品質を確保するのに大いに役立ちました。また、他のVASCO社製サーバー製品群の中でも、VACMAN Controller は、認証サーバダウン時のリスクを軽減できる柔軟性も大きな特徴です、その他、時間同期の事前テストなどをPC環境で行うこともでき、検証作業の短縮に繋がりました。無償での事前トレーニングや検証CDROMの貸し出しサービスなども導入工数を短縮できた要因の一つです。」

を理解することができたため、問題なく開発が行えました。また、多数のお客様が利用する状態(高負荷)を想定した挙動検証についても、DIGIPASS SIMULATORなどのVASCO社提供のツール群を利用することにより、検証作業をスムーズに行うことができ、銀行システムで求められる品質を確保するのに大いに役立ちました。また、他のVASCO社製サーバー製品群の中でも、VACMAN Controller は、認証サーバダウン時のリスクを軽減できる柔軟性も大きな特徴です、その他、時間同期の事前テストなどをPC環境で行うこともでき、検証作業の短縮に繋がりました。無償での事前トレーニングや検証CDROMの貸し出しサービスなども導入工数を短縮できた要因の一つです。」

同行では、2010年中にシンガポールで約600社(3000ユーザ)に導入。この他香港・上海・日本及びその他の国でも順次導入を予定しています。特に、金融立国としてセキュリティ意識の高いシンガポールユーザからは、「みずほコーポレート銀行は正しい選択をした」との評価を得ているとのこと。

導入目的

- ・ 現状の認証セキュリティ対策を更に強化し、同時にユーザビリティの向上とTCO削減を実現すること

チャレンジ

- ・ 短期間で導入が完了すること

結果及び効果

- ・ 二要素認証の中でも当局が指摘するような銀行業界で必要な高セキュリティ、柔軟性、利便性を追求・実現できた
- ・ 特にユーザ利用面でのサービスのレベルアップに繋がった(リモートで使用したいなど、お客様からの要望も解決)
- ・ 海外拠点も含め、電子証明書の更新作業等が不要となる等、自社内サポート業務効率の向上に繋がった
- ・ ユーザ様から好評を得た



株式会社みずほコーポレート銀行について

みずほコーポレート銀行は、大企業(一部上場企業等)およびそのグループ会社や金融法人、公共法人ならびに海外の日系・非日系企業を主要なお取引先としており、多様化・高度化・グローバル化するお取引先の財務的なニーズと事業戦略上のニーズの双方に対し、最適なソリューションを提供しています。みずほ銀行、みずほ証券、みずほ信託銀行等、〈みずほ〉各社の機能の活用に加え、世界各国の金融機関等の提携関係を活かし、あらゆる最先端の金融サービス・ソリューションを複合的・連続的に提供し、お取引先のニーズを幅広く捕捉する「コーポレートファイナンスのトップランナー」を目指しています。

VASCOについて

VASCOは、認証セキュリティやデジタル署名ソリューションの分野のリーディングカンパニーです。VASCOは、インターネットセキュリティの分野でグローバル展開するソフトウェアカンパニーであり、特許登録されているDIGIPASS、DIGIPASS PLUS、VACMAN、IDENTIKEY、aXsGUARDなどの認証製品を開発・販売・サポートしています。また、VASCOのソリューションは、金融機関を始めとして、エンタープライズ企業、公共機関、eコマース市場などで幅広く展開されています。

www.vasco.com - www.vasco.co.jp

TOKYO (Japan)
phone: +81 3 5532 7862
email: info-japan@vasco.com

BRUSSELS (Europe)
phone: +32 2 609 97 00
email: info-europe@vasco.com

BOSTON (North America)
phone: +1 508 366 3400
email: info-usa@vasco.com

SYDNEY (Pacific)
phone: +61 2 8061 3700
email: info-australia@vasco.com